

**貸借対照表**  
(2019年3月31日現在)

株式会社バンダイナムコアミューズメントラボ

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,791</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>1,295</b>
現金及び預金	851	買掛金	186
売掛金	489	未払金	138
仕掛品	419	未払消費税等	68
貯蔵品	4	未払事業所税	2
前渡金	2	未払法人税等	39
前払費用	20	未払費用	9
未収入金	4	前受金	493
		預り金	15
		賞与引当金	340
<b>固 定 資 産</b>	<b>391</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>17</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>215</b>	退職給付引当金	17
建物	0		
機械及び装置	9	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,313</b>
工具器具及び備品	2	(純資産の部)	
A M 機器	203	<b>株 主 資 本</b>	<b>870</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>0</b>	資本金	10
ソフトウェア	0	資本剰余金	851
		その他資本剰余金	851
<b>投資その他の資産</b>	<b>175</b>	利益剰余金	8
前払年金費用	43	その他利益剰余金	8
繰延税金資産	131	繰越利益剰余金	8
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>870</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>2,183</b>	<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	<b>2,183</b>

## 個別注記表

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産

仕掛品・・・・・・・・・・AM（アミューズメント）機器及びゲームソフト制作にかかる仕掛品については個別法による原価法

貯蔵品・・・・・・・・・・最終仕入原価法

貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しております。

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

定率法（ただし、建物（附属設備を除く）については定額法）を採用しております。

<主な耐用年数>

建物・・・・・・・・・・18年

機械及び装置・・・・・・・・・・4年

AM（アミューズメント）機器・・・・5年

工具器具及び備品・・・・・・・・4～5年

##### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

<主な耐用年数>

自社利用のソフトウェア

研究開発用・・・・3年

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

##### (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間による按分額をそれぞれ発生翌事業年度より費用処理することとしております。

なお、過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による按分額を費用処理することとしております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税及び地方消費税の会計処理方法

税抜方式を採用しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

5. 当期純利益金額 8百万円

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。